

『建築造形のスタディ かたちの構成・操作・展開』（第1版第1刷）正誤情報

2025/09/22 学芸出版社

本書の内容に間違いがございました。

ここに訂正させていただきますとともに、深くお詫び申し上げます。

該当頁	誤	正
P119 ■01 線 3 個目の問い	*) 一般的に「()」は集中的で内向性の強い図形、「3 角形」は安定性と象徴性の図形、「正 () 方形」は静的で中立的な図形といわれている。	*) 一般的に「()」は集中的で内向性の強い図形、「3 角形」は安定性と象徴性の図形、「正 方形」は静的で中立的な図形といわれている。
P120 ■04 単体のかたち 22 個目の問い	*) パラレルの発展形について。建築家。岡田新一は「最高裁判所コンペ」を通して () = 「パラレル壁の間にコア・スペースを入れ込む」という概念を提唱した。	*) パラレルの発展形について、建築家 の岡田新一は「最高裁判所コンペ」を通して () = 「パラレル壁の間にコア・スペースを入れ込む」という概念を提唱した。
P121 ■07 かたちの組織化 1 個目の問い	*) 建築や都市において直交グリッドは、ある規則に従い物や事を () 配置する場合に有効な形式 (パターン) として活用される。	*) 建築や都市において直交グリッドは、ある規則に従い物や事を () て配置する場合に有効な形式 (パターン) として活用される。
P122 ■08 部分の集まり方 19 個目の問い	*) 内部空間を持つ立方体 (全体) を、3 つの要素 (部分: 。屋根・天井、壁、床) の集合体とみなして操作すること () という。	*) 内部空間を持つ立方体 (全体) を、3 つの要素 (部分: 屋根・天井、壁、床) の集合体とみなして操作すること を () という。
P122 ■08 部分の集まり方 21 個目の問い	*) 全体を考え、次に部分を考える。次はその逆で考える。こうした相互的な関係を () という。	*) 全体を考え、次に部分を考える。次はその逆で考える。こうした相互的な関係を (と) という。

以上